

平成27年度

筑波大学自然保護寄附講座 公開講座

筑波大学大学院自然保護寄附講座では、①自然保護教育と環境教育、②自然保護法制度、③生態系の保全と復元、④環境影響評価という4つのテーマについて、公開講座を実施します。各分野で目覚ましい活躍をされている方々を講師としてお招きしています。学生・社会人にかかわらず、自然保護にご関心のあるすべてのみなさまのご参加をお待ちしています。



1 自然保護教育と環境教育

定員 25名 (学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
10月17日(土) 10:00-12:00	ネイチャ・フィーリング ーからだの不自由な人とともに自然のしくみを五感で感じようー (実習)	鳥山 由子 (自然観察指導員、NACS-J 評議員、元筑波大学教授)
10月17日(土) 13:00-15:00	ネイチャ・フィーリング ーからだの不自由な人とともに自然のしくみを五感で感じようー (講義)	
10月18日(日) 10:00-12:00	自然とのコミュニケーションの様々な方法、直接体験から映像体験まで (講義)	川嶋 直 (コミュニケーションデザイナー、日本環境教育フォーラム)
10月18日(日) 13:00-17:00	紙芝居プレゼンテーション (KP) で伝える環境教育 「KP 法実践講座」 (実習)	

2 自然保護法制度

定員 40名 (学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
11月7日(土) 10:00-12:00	自然保護と法制度 ーわたしたちは何を知り、何をなすべきかー	亀山 章 (日本自然保護協会理事長・東京農工大学名誉教授)
11月7日(土) 13:00-15:00	外来種対策 ー国の最近の動きと外来種防除 (小笠原諸島を事例に) ー	立田理一郎 (環境省)
11月28日(土) 10:00-12:00	現代社会における国立公園の役割 ーふるさとの風景と国立公園ー	親泊 素子 (江戸川大学国立公園研究所)
11月28日(土) 13:00-15:00	なぜ“自然”が文化財なのかー天然記念物にみる自然の価値	蒔田 明史 (秋田県立大学)

3 生態系の保全と復元

定員 40名 (学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
12月5日(土) 10:00-12:00	見ることで守る ー生き物のモニタリングとその活かし方ー	竹中 明夫 (国立環境研究所)
12月5日(土) 13:00-15:00	温暖化による日本の森林への影響 ーとくにブナ林分布への影響についてー	松井 哲哉 (森林総合研究所)
12月6日(日) 10:00-12:00	海洋生態系の保全と復元 ーサンゴは減ってしまうのか? ー	山野 博哉 (国立環境研究所)
12月6日(日) 13:00-15:00	湿地の利用と自然再生	西廣 淳 (東邦大学)

4 環境影響評価

定員 40名 (学内募集を含む)

日程	テーマ	講師
12月12日(土) 13:00-15:00	自然保護の現場からみた日本の環境アセスメント制度の課題 ーリニア中央新幹線、辺野古大浦湾、中池見湿地の事例からー	辻村千尋 (日本自然保護協会)
12月12日(土) 15:30-17:30	HEP から変わる日本の環境アセスメント ー生物多様性オフセット入門ー	田中 章 (東京都市大学)
12月13日(日) 10:00-12:00	持続可能性アセスメントへの展開	原科幸彦 (千葉商科大学)
12月13日(日) 13:00-15:00	参加型アセスで行こう!	傘木宏夫 (NPO 地域づくり工房)
12月13日(日) 15:00-17:00	アセス図書から学ぼう! (演習)	

会場 筑波大学キャンパス春日プラザ4階 会議室 (住所:茨城県つくば市春日1-8-3)

お申込

受講料: 無料

申込締切: 講座開催日より2週間前 ※定員に達した場合、締切日前に募集を終了させていただく場合があります。

申込方法: 必要事項を記入の上、次のいずれかの方法でお申込下さい。

①電話でのお申込 029-853-6344 ②FAXでのお申込 029-853-7099

③メールでのお申込 nature@heritage.tsukuba.ac.jp

④ホームページ申込フォームからの申込 http://www.conservation.tsukuba.ac.jp/

★申込必要事項 1. お名前 (ふりがな) 2. お電話番号 3. メールアドレス (メールアドレスがない場合はご住所)

4. ご希望の講座名 (①～④を明記のこと)

※頂いた個人情報は、ご本人の同意がない限り第三者には提供いたしません。

